

平成17年度動物由来感染症サーベイランス結果報告

大阪府では、動物由来感染症の発生を防止し、又はまん延を防止するため、環境農林水産部と健康福祉部が一体となって動物由来感染症の積極的な検査(サーベイランス)を実施しています。検査の結果は、下記のとおりです。

平成18年3月31日現在

感 染 症 名	対象動物	検体	平成17年度合計		
			検体数	陽性	陰性
腸管出血性大腸菌	牛・めん山羊	糞便(農家)	584頭		584頭
	牛	枝肉 (食肉処理場)	344検体		344検体
ウエストナイルウイルス感 染 症	蚊	蚊(馬飼育施設)	465匹		465匹
		蚊(保健所)	4,592匹		4,592匹
	野鳥	脳	14羽		14羽
オウム病	鳥類	糞便	420羽	25羽 ¹	395羽
高病原性鳥インフルエンザ	鶏・アヒル	気管・クロアカス ワブ	1,647羽		1,647羽
		血清	1,532羽		1,532羽
	豚	鼻腔スワブ	178頭		178頭
		肺	9頭		9頭
デング熱	蚊		4,592羽		4,592羽
日本脳炎	豚	血清	227頭		227頭
	蚊		4,592匹		4,592匹
ブルセラ症	牛	血清	1,035頭		1,035頭
つつが虫病	野ネズミ	ツツガムシ	171匹		171匹
クリプトスポリジウム	牛・めん山羊	糞便	82頭		82頭
B S E	牛	延髄 (食肉処理場)	28,369頭		28,369頭
		延髄(死亡牛)	112頭		112頭
トキソプラズマ症	豚	血清	450頭	31頭 ²	419頭
アライグマ回虫症	アライグマ	糞便	78頭		78頭

1 オウム病陽性25羽のうち、9羽は治療、16羽は自主淘汰

2 トキソプラズマ症陽性31頭については肺炎等の臨床症状はなく、感染はしたものの発症はなかったものです。